

大池小学校

【プロジェクト名】
大池万博2022

令和4年度(2022年度)
アフターコロナ学校企画応援事業



↑大池万博2022の様子



プログラミングロボットの操作実演↑

【取組内容】

- 外部から参加団体を招聘して行っていた従来の大池科学博を見直し、**新たに地域やPTAと連携し、児童自ら企画運営**する行事にすることにした。
- 児童が科学の不思議さや楽しさを学び、それを他人に伝えるためプレゼンし、**知るだけでなく知り得た知識を自ら考え工夫して低学年に伝えていく取組み**を設定。
- 低学年児童はその姿を見て学び、数年後は自分がその役をするという自覚を持たせ、高学年への希望を持たせた。またタブレット端末を活用し、プログラミングロボットを作成・操作実演。

【自己評価(成果)】

- 地域の方がプログラミングロボットを指導してくれたので、学校だけでは到底できない専門的な動きを経験することができた。
- プログラミングロボットを児童2人につき1台購入できたので、6年生全員がイベント後も継続的に初歩的な技術を習得し、下級生に教授できるまでになった。
- 児童が主体的にイベントに取り組み、創意工夫して参観者のために企画運営できる機会を持たせた。

【課題】

- 準備など担当の負担が大きい。
- 校務分掌の位置づけが必要。
- PTAや地域団体など外郭団体が加わることで児童の主体性を生かす趣旨が低くなる可能性がある。